

行政の窓

北海道の木質バイオマスエネルギー利用促進の取組

森林整備で発生する林地未利用材や製材工場で生じる端材などの木質バイオマスは、暖房などのエネルギー燃料として活用することで、森林資源の循環利用や地球温暖化の防止、地域の活性化にも貢献する取組であることから、道ではこれまで、木質バイオマスの関連施設整備や安定供給体制の構築に向けた支援を行ってきました。

一方で、再生可能エネルギーの固定価格買取制度（F I T制度）が始まって以降、令和6年度末までに道産木材を燃料とする木質バイオマス発電施設が14施設稼働するなど、発電向けの需要が高まっています。こうした中で、発電燃料の調達が既存の木材利用に影響を与えないよう、これまで利用されてこなかった細い間伐材や枝条などの未利用材を安定的に供給することが求められています。

このため道では、林地未利用材の効率的な集荷・搬出や加工に必要な機械の導入を支援するなど、未利用材の利用促進に取り組んでおり、また、北海道木質ペレット推進協議会と連携し、各種イベントに出展してペレットストーブの展示や木質燃料の紹介を行うなど、木質バイオマスの普及啓発に取り組んでいます。

今後も、地域に合わせた木質バイオマスの利用が進むよう、関係機関と連携して取り組みを進めていきます。

道内の主な利用施設（令和7年8月現在）

道北地域（主な施設） 利用量：358千m³

- FIT発電：下川町（北の森グリーンエナジー㈱）
 ▲熱電併用施設：旭川市（日本製紙㈱、㈱北海道健康社）
 ●熱利用施設：旭川市（㈱カンディハウス、温泉など）、
 士別市（三津橋産業㈱など）、道庁（役場庁舎など）、
 上川町（上川医療センター）、美瑛町（プール、交流施設）、
 和寒町（地域熱供給）、下川町（地域熱供給、小・中学校など）、
 美瑛町（温泉）、青森子府村（温泉）、富良野市（小学校）、
 中標津町（温泉）

オホーツク地域（主な施設） 利用量：776千m³

- FIT発電：網走市（㈱WIND-SMILE、(同)網走バイオマス第2発電所・第3発電所）、
 紋別市（板別バイオマス発電㈱）、津別町（津別単板協同組合）
 ●熱利用施設：北見市（(協)オホーツクウッドピア、老人ホームなど）、
 紋別市（病院、佐藤木材工業㈱）、津別町（公民館、老人ホームなど）、
 遠軽町（交流施設）、滝上町（ホテル、老人ホームなど）

道央地域（主な施設） 利用量：673千m³

- FIT発電：江別市（王子グリーンエナジー江別㈱）、
 石狩市（エネサイクル㈱、(同)石狩バイオエナジー）、
 当別町（北の森グリーンエナジー㈱）※現在休止中
 ▲熱電併用施設：苫小牧市（王子製紙㈱）、
 白老町（日本製紙㈱）、平取町（木質バイオマスセンター）
 ●熱利用施設：札幌市（㈱北海道熱供給公社、動物園、小・中学校、区役所など）、
 札幌市（健康センターなど）、赤平市（空知単板工業㈱など）、
 三笠市（役場庁舎など）、倶利伽羅市（松原産業㈱、㈱イクラなど）、
 伊達市（役場庁舎、体育館など）、むかわ町（病院、小学校など）、
 穂積町（森林組合）、浦河町（バイオマスエネルギーセンター）

釧路・根室地域（主な施設） 利用量：102千m³

- FIT発電：
 釧路市（日本製紙㈱、(㈱釧路火力発電所）、
 白糠町（㈱神戸物産）
 ●熱利用施設：釧路市（㈱マルセンクリーニング）、
 白糠町（札幌ベニヤ㈱）

道南地域（主な施設） 利用量：45千m³

- FIT発電：北斗市（北斗バイオマス発電(同)）
 ●熱利用施設：知内町（役場庁舎、町民ホールなど）、
 木古内町（㈱西根製材所）、森町（㈱ハルキ）、
 長万部町（竹林木材工業㈱）、厚沢部町（温泉）、
 真狩町（役場庁舎、小学校）、福島町（役場庁舎）

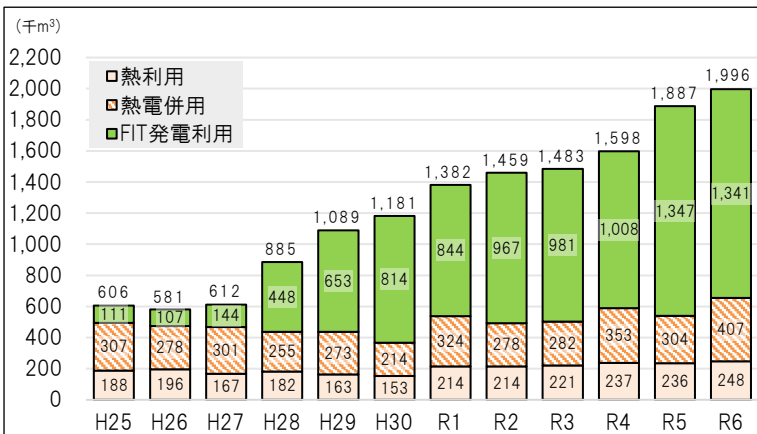
十勝地域（主な施設） 利用量：42千m³

- ▲熱電併用：帯広市（㈱サトウ）
 ●熱利用施設：帯広市（カルビーポテト㈱）、
 大樹町（温泉）、足寄町（役場庁舎など）、
 浦幌町（温泉）

【凡例】

- FIT認定発電施設
 ▲ 熱電併用施設
 ● 熱利用施設

木質バイオマスの原料別エネルギー利用量の推移



道内木質バイオマス利用施設の状況

〔令和6年度に利用実績のあった設備〕

- 木質バイオマス発電機：54基
 木くず焚きボイラー：133基
 ペレットボイラー：59基
 ※木くず焚き・ペレットボイラーは、
 発電利用目的のボイラーを含む



〔木質バイオマス発電施設〕

〔薪〕

（水産林務部林務局林業木材課利用推進係）